

＜ポイント版＞ 岐阜経済レポート（令和8年7月分）

【製造業】

- 製造業は、5月の鉱工業生産指数は前月比8.6%上昇となった。ヒアリングでは、飛翔体部門の受注は引き続き順調であり、防衛部門からも受注が増えてきているとの声がある一方、製品に使用するタングステンの輸入がストップしているなど、原材料費の値上がりがいまだに続いているとの声も聞かれた。
- 地場産業は、5月の鉱工業生産指数は食料品、木材・木製品、繊維工業、家具、窯業・土石で下降した。ヒアリングでは、高級包丁が円安による輸出好調、インバウンド需要好調といった声がある一方、低価格なカジュアル商品と機能的なりカバリウェアの動きはいいが、その他の衣料品は苦戦しており、価格転嫁が出来ていないといった声が聞かれた。

【設備投資】

- 設備投資は、6月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比52.8%増加となった。ヒアリングでは、設備更新やラインの自動化に向けた投資が6割、コロナ期に先送りした保守関係を4割程度で進める見込といった声がある一方、コスト高を受けて設備投資を控える考えと、今後更なるコスト上昇が見込まれることから、今のうちに投資に踏み切る考えの二通りの傾向がみられるといった声があった。

【個人消費】

- 個人消費は、6月の販売額は、全体で前年同月比▲1.8%となった。ヒアリングでは、売上と客数は前年を上回り、非常に厳しかった先月からはトレンドが少し回復するも、全体としては厳しい状況が続くといった声があった。

【観光】

- 宿泊者数は、前年同月を上回っている。
- 宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。

【資金繰り】

- 6月の制度融資実績は前年同月比35.9%増加となった。融資動向については前年同時期と比較し、業種問わず全体的にゆるやかな増加傾向にあるとの声がある一方、事業性の資金需要が低く、赤字補填などの後ろ向きな融資が多いとの声が聞かれた。

【雇用】

- 6月の有効求人倍率は1.46倍と前月比横ばいとなった。ヒアリングでは、来年春の新卒採用活動を進めているが、現状では面接件数が低調で推移しているといった声や、女性の採用率は高いが、応募自体が少ない状況が続いているといった声が聞かれた。

【景気動向】

- 5月の景気動向指数（一致指数）は前月比5.9ポイント上昇、6月の中小企業の景況感は同▲2.0ポイントとなった。